

信州大学医学部附属病院 第2内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年7月23日

「*Non Helicobacter pylori Helicobacter* 胃炎における内視鏡像、消化酵素・消化管ホルモンの検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5235
研究課題名	<i>Non Helicobacter pylori Helicobacter</i> 胃炎における内視鏡像、消化酵素・消化管ホルモンの検討
所属(診療科等)	第2内科
研究責任者(職名)	岡村 卓磨(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日
研究の意義、目的	<p>ヘリコバクター・ピロリ菌が胃炎、消化性潰瘍、胃癌などさまざまな疾患の原因であることが明らかにされ、わが国においてピロリ菌に対する除菌治療が普及しています。</p> <p>一方、ヒトの胃粘膜にはピロリ菌以外のヘリコバクター属菌(<i>Non-Helicobacter pylori-Helicobacter</i> (NHPH))が感染することが明らかになってきました。NHPH 胃炎は、ピロリ菌と同様、消化性潰瘍や胃悪性リンパ腫などの原因になることが報告されていますが、その病態、内視鏡像、ペプシノゲンやガストリンなどといった消化管ホルモン、消化酵素に対する影響は未だ不明です。</p> <p>本研究は、当科で NHPH 感染と診断した患者様の内視鏡所見や、血液検体を用いた消化管ホルモン、消化酵素の測定を行い、NHPH 胃炎の臨床的特徴を明らかにすることを目的としています。</p>
対象となる方	2016年6月1日から2021年6月30日の期間に当院で NHPH 胃炎について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、内視鏡所見、採取した血液検体など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、また採取済みの血液検体を用いて消化酵素の測定を行います。それらの結果より NHPH 胃炎の内視鏡像や消化酵素の特徴について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 岡村 卓磨(第2内科・助教) 電話:0263-37-2634

既存の診療記録、検査結果、採取検体を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。